

## 目次

文献集 日本語版の発刊に寄せて……………	ギリシヤ共産党中央委員 エリセオス・バゲナス 4
I 資本主義の革命的打倒をめざそう……………	7
第一〇回共産党・労働者党国際会議におけるギリシヤ共産党の報告	
D・コーツオンプス（ギリシヤ共産党中央委員会政治局員）	
II ギリシヤ共産党が捉える現代世界……………	23
ギリシヤ共産党の足跡、共産党・労働者党国際会議にみる対立点と論争	
向井 亨（活動家集団 思想運動▽常任運営委員・国際問題研究）	
ギリシヤ共産党略史（創立大会▽第一七回大会）……………	44
III ネグリ／ハート『△帝国▽』批判……………	57
もう一つの世界は可能だ。だが、その世界は、社会主義以外ではありえない	
ギリシヤ共産党マルクス主義研究センター	
IV 社会主義に関する決議……………	71
ギリシヤ共産党第一八回大会	
【コラム】 価値法則／ネップ／スターリン評価／コスイギン改革／プロレタリア独裁／ソ連共産	
党二〇回大会	
ソ連邦史略年表……………	154
ギリシヤ共産党第一八回大会国際代表団一覽……………	169
V 力強いギリシヤ共産党——反撃の第一八回大会……………	171
ギリシヤ共産党中央委員会のテーゼ	
【コラム】 「帝国主義」認識／二二世紀社会主義／非暴力／反帝反独占民主戦線（「AADF」）／	
「党と労働組合」の関係	
あとがき……………	268

△凡例▽ 本書に収録した論考のうち、I、III、IV、Vなどは、ギリシヤ共産党のウェブサイトの記事（英文）からの重訳である。邦訳にあたっては、訳語・訳文に慎重を期したつもりであるが、とくにIV、Vに関しては、英文（ギリシヤ語の原文からの英訳）それ自体の制約もあり、邦訳上の問題点を解決できなかった箇所があることを、あらかじめお断りしておく。なお、翻訳論文のタイトル、中見出しには、日本語版編集にあたって編者がつけ直したものがあ

【編者】